

住宅のパーテーションで成長、 独自技術と生産に強み

オンリーワン技術
メイドインジャパン
量産対応



カラーパーテーション（見本）

【業務内容】
高付加価値で競争力向上、
関東の高層住宅にも出荷

「トーコー」はマンションなど集合住宅のベランダを隔てるアルミ製の間仕切り（パーテーション）を手がけている。取り付け面が平らや垂直でなくても設置できる「どこでも丁番」や、車いすも通れる「ツイントール錠」など、付加価値の高いパーテーションで競争力を握る。

出荷先の比率は関西が80%、関東が20%。関東では首都圏の超高層マンション向けが多い。自社工場でも多品種少量を二貫生産し、省力化によるコストダウンや納期短縮できる優位な体制を築く。狭小タイプのパーテーションの全国販売や海外進出も図り、事業拡大を図っている。

【強み】
「どこでも丁番」と
「ツイントール錠」で受注拡大

「どこでも丁番」は建物内外壁で使用する枠の要らない角度調整機能付き丁番で、取り付け面が凹凸でも、上下の蝶番の取り付け角度が最大35度異なっても、角度の調整機能により、取り付け場所を選ばず容易に設置することができ、スムーズに開閉もできる現在特許出願中の同社オリジナル製品だ。

「ツイントール錠」はマンションバルコニー用の避難扉用破壊錠で、従来の蹴破るタイプのボードと異なりドアタイプの使用が前提となるため、車いすでも避難でき、開錠もカバールを引く外レバーを引き下ろすだけで開けられる。パーテーションを取り付けにくい箇所や、需要が増えている高齢者専用高級マンション向けに、注文を伸ばしている。関西ではトップクラスの販売量を握る。

【力産省生】
塗装ロボットを導入し
生産省力化、品質・短納期に威力

自社工場では多様なアルミ材料を取りそろ

え、切断したり穴を開けたりするNC（数値制御）加工機や、中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用して塗装ロボットなどを積極的に導入し、省力生産を進めている。

田中透社長は「かつてパーテーションは、職人が建築現場で加工・製作し、取り付けしていた。今は工場で一貫生産し出荷できる方式を独自に確立した」と胸を張る。特に塗装は手塗りでは技能差が生じるが、ロボットならば均一に塗れる。生産では塗装がもつとも時間がかかるため、短納期にも威力を発揮する。これらにより品質を高め、量産体制も整えている。

【今後の展望】
生産効率高め、輸出も視野に
全国で市場開拓目指す

田中社長は「塗装ロボットのおかげで生産のオートメーション化が大きく進む。塗装を完全に無人化できれば、24時間の稼働も可能になる。これからはしっかりと仕事を取りたい」と意気込む。

市場の拡大にも意欲的で、特に首都圏のタワーマンション向けに受注を増やせば、大量生産に結びつく。市場が遠いと物流コストがかかり不利になるが、さらに生産効率を向上させれば全国規模での出荷も可能になる。「狭小タイプのパーテーションの全国販売に加えて、将来は『どこでも丁番』と『ツイントール錠』を海外でも販売したい」と、新たな目標を掲げる。



車いすでも通れる「ツイントール錠」



NCドリルなどで生産を省力化

当社の歴史



昭和47年に大阪府高槻市で店舗用アルミサッシ加工・卸売の「キクチサッシ」を創業しました。平成3年にアルミ手すりの加工販売を始め、大阪府摂津市に移りました。同9年にバルコニー用間仕切り設置方法で特許を取り、同24年に「トーコー」に社名変更し、アルミパーテーションの製造販売に特化しています。

代表取締役 田中 透さん

<http://to-ko-t.co.jp/>

主な事業内容

パーテーション、隔て板、間仕切りの製造販売

主な取引先（納入先）

建築金物、アルミ手すりメーカー、建設会社

●住所 〒566-0052
摂津市
鳥飼本町2-11-33
●TEL 072-650-3010
●FAX 072-650-3020
●創業 昭和47年4月
●設立 昭和63年2月
●資本金 1,000万円
●従業員 10名